



秋の羽音



蓬 恵碩

秋の羽音

裏庭では秋の虫ども凜々とすずやかに羽音鳴らしたり

夕暮れの光り緑金に

いたずらに 時を過ごし 変わったりける 空見の朝

しろい鳥羽

秋空のしろい鳥羽 どこへいくものか

すみぞらのいたずら からのくにへ

からにはいりゃあ

もちづきのみのあるころにゃ

まるいだんごに変わりけり

こよみめぐり

はらはらと こよみよむよむ よるのふけ

つきのひかりに てらされた

点描の線に変わる絵の変化

よめばつらなる 浮き世かな

往復はがき

往復はがきを買って

ことのはにとまどい

きっと帰らぬ返事に

秋の夜の風のたよりに託せんかと

あだな男に泣くことよ

春のおくりもの

思わぬ人からの留守番電話

春の目覚めの中で 泣いてた私に声をかけたやさしいひとから

やさしい旋律の声

ほんとのいみ 知りたくとも

聞けぬ 我が身と 聞かさぬいじわるな電話

ひとあめ来ぬかと そら見る夕べ

メッセージをどうぞ

留守番電話に残す「うおあいにい」

自分の精一杯の宝箱に往復はがきをこめたおくりもの「この箱に詰めたものが私の一生分の宝です」

帰ってきた返事「愛してる。ごめん」

ハッピークリスマスラジオ

ネットラジオは今日もいろんなところからクリスマスソングが聞こえる。
あたらしく生まれてくる赤ちゃんたちのために。
まだ秋も更けぬうちから。

恋人たちの秋

朝の空は神の祝福にきらめき 恋人たちはこころを澄ませ

風鈴の音を聞く 羽音ざわめき 虫も冬ごもりのしたく

ああ 秋の羽音こそが 神の福音だったのか

さざめいたあとの澄んだ虫や草たちや風の羽音が